


**船橋市立医療センターNews No.32**

●発行年月日/平成29年4月1日 ●編集/船橋市立医療センター広報委員会 ●発行責任者/院長 丸山 尚嗣  
〒273-8588 船橋市金杉1-21-1 ☎047-438-3321(代) <http://www.mmc.funabashi.chiba.jp/>



「桜満開のアスレチック広場（アンデルセン公園）」当院職員撮影

## 院長就任のごあいさつ

船橋市立医療センター院長 丸山 尚嗣



平成29年4月より院長を拝命しました。当院がより一層市民に信頼され、患者さんに安全・安心な医療を提供できるようベストを尽します。何卒、よろしくお願い申し上げます。

当院は、船橋市および東葛南部保健医療圏における救急医療を主体とする急性期医療を担い、がん治療をはじめとする高度医療を提供してまいりました。東葛南部は現状でも人口当たりの病床数が少ない医療圏ですが、今後は高齢化が進むことによりさらに医療資源が不足することになります。この状況において当院の役割としては、急性期医療が必要な

患者さんに、より質が高く密度の濃い医療サービスを提供することが求められています。これを実現するため、患者サポートセンターを立ち上げて入院前から治療予定について説明し御理解いただき、入院中に安心して治療を受けられるよう、スタッフが一丸となり患者さん中心のチーム医療の充実を図っていきます。さらに急性期リハビリ、回復期・療養型病床、そして在宅療養に向けて患者さんが切れ目なく円滑に移行できるよう、地域の医療機関や介護施設などと連携を深めてまいります。

昭和58年に開院以来34年余りが経過して設備の老朽化と診療部門の狭隘化が進み、高度化する医療技術への対応や充実すべき患者サービスの提供が困難な面も出てきています。このため病院建て替え（新病院建設）に向けて検討が進んでいるところです。現在から未来に向け、求められる病院、信頼される病院を築いていくことが使命と考えています。皆様の御指導ならびに御協力をよろしくお願い致します。

### 目次

病院事業管理者あいさつ／退任者あいさつ	2	当院で働く人々／卒後臨床研修評価機構の認定	8
新任者あいさつ／人事異動紹介	3	第29回 公開医療講座／第10回 がん市民公開講座	9
特集 腰椎椎間板ヘルニアの治療	4	救命救急センターの現場から／研修医のつぶやき	10
リエゾンセンター／優秀ボスター賞	6	剖検慰靈祭／DMAT車両の導入／職員募集	11
医療を学ぼうin図書館／厚生労働大臣・船橋警察署長から感謝状	7	外来担当医師一覧表	12

# 病院事業管理者あいさつ

船橋市病院事業管理者 鈴木 一郎

平成21年に地方公営企業法全部適用に移行して9年目になります。私たちはこれまでに、地域医療支援病院、DPC対象病院、7:1看護配置基準の取得、診療科の増設、SPDの導入、災害拠点としてのライフラインの整備、電子カルテの導入、ACU、SCU病床の開設、患者サポートセンターの開設、保育所の整備などなど、年ごとに目標を立て、それを達成してきました。

そして平成29年度は第3期中期経営計画の最終年度になります。29年度の大きな事業として、リニアック更新があります。一段と性能がアップされ、前立腺がんの放射線治療も可能になります。また一部、遺伝子検査も自前でできるようになり、地域がん診療連携拠点病院としての診療体制が充実します。数値目標としては、病床稼働率90%、平均在院日数10日、逆紹介率90%、紹介率60%以上など高い目標を掲げています。高度急性期病院としては達成したい目標ですし、当院の力をすれば達成可能な目標と考

えます。

今年度は幹部職員の異動がありました。新院長に丸山尚嗣（外科）、医療安全担当副院长に三村雅也（整形外科）、診療局長に水本英明（消化器内科）、そして前院長の高原善治は病院局参与に就任しました。

来年度には医療・介護診療報酬同時改定が行われます。これは2025年問題を視野に入れての、大幅な改定が予想されています。新体制のもとで、それに向けての準備もしっかりと進めてもらいたいと思います。

新病院建設も“新しい船橋市立医療センターのあり方に関する検討委員会”的答申を受けて、次は、いよいよ基本計画の段階まで来ました。同時に海老川上流地区の“医療と福祉の街づくり”構想も、千葉大学COC+チームが加わり本格的に進み出します。

29年度は大きな動きのある年に成りそうです。



## 院長退任・参与就任あいさつ

船橋市病院局 参与 高原 善治

この度、8年間務めさせていただきました院長職を退任することになりました。この長き間に無事に務めてこられたのは、病院職員の皆さまはもとより、市民・患者の皆さま、医師会の皆さま、市役所の方々、その他多くの方々のご支援・ご協力の賜物と感謝しております。

今日、日本の医療は超高齢社会を迎え、増加する医療ニーズへの対応策として無駄を避け少ない医療資源を効率よく利用していく体制の構築が必要となっています。また進歩し続ける医療の質の向上に追従していくために、大きな努力が余儀なくされています。一方、平成26年に医療介護総合確保推進法が成立し、地域医療構想が2次医療圏単位で策定されようとしています。また平成30年度には医療介護診療報酬同時改定が行われます。これらを見据えて、当院も安定した経営のもとに医療水準の高い安全な医療の提供を維持していくことが望まれます。4月以降は病院局参与として、事業管理者を補佐し病院運営に尽力していきたいと思います。

## 退任者あいさつ

臨床検査科技師長 高橋 久雄

3月31日をもちまして定年退職致しました。

開院から2年目の春に採用され、当時は高度医療、救急医療、開放型病床を主体として市民の皆さんから信頼される病院を創り上げていこうという情熱に満ち溢れておりました。この32年間、病理検査業務に携わり細胞検査では多少なりとも臨床へ寄与できたのではないかと考えております。技師長職となり臨床検査科の取り組みとして、地域がん診療連携拠点病院の役割である高度専門医療を提供するため遺伝子検査導入を推進し、29年度には検査開始の見込みとなりました。大過なく今日まで全うできたのは病院で働く多くの皆さんの協力があってのことと感謝しております。

船橋市立医療センターが将来にわたり、ますます発展することをお祈り致します。

## 新任者あいさつ



### 副院長（兼医療安全管理室長）三村 雅也

このたび、医療安全担当の副院長を拝命致しました。当院は昭和58年の開設以来、常に市民の皆様に愛される病院として存在すべく、ひたすら精進を重ねてまいりました。今後も、最新の医療技術とそれを支える医療設備および熟練の医療スタッフのもと、患者さんへのきめ細やかな配慮を伴った最善の医療を提供する所存であります。

最善の医療を提供するにあたり、医療の安全・安心は無くてはならないとても大切な分野であります。病院全体に医療の安全・安心の概念が今にも増して染み渡っていくよう、鋭意努力してまいりたいと思います。変わらずご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひします。



### 診療局長 水本 英明

このたび診療局長を拝命いたしました。

諸先輩方と比べますとまだまだ経験も浅く力足らずではございますが、患者さんからの御意見と、各診療科、各部門の方々の御指導と御協力をいただきながら、これから当院のさらなる発展のために微力ながらお役に立つよう頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

船橋市全体の健康な街づくりというには、ひとつの医療機関の努力だけでできるものではなく、医師会と行政、当院のような地域の基幹病院が連携を密にして協力し合うことで最大の効果を上げることができるものと考えております。

4月からは船橋市で内視鏡による胃がん検診が新たに始まり当院も参加することになっておりますが、今後も船橋市の健康医療対策において、当院ならではの高度な医療設備と診断力や治療技術を生かして協力していくことで、市民の健康の推進にさらに役立つことができればよいと思っております。



### 臨床検査科技師長 諏訪 直生

平成29年4月1日付で臨床検査科技師長を拝命致しました。

“臨床検査”という職業は一般的にはあまり知られていないと思います。この部門は、心電図、超音波検査などの生理機能検査や外来採血室では患者さんと接していますが、これらは業務の一部です。“検体”と呼ばれる血液、尿、喀痰や組織などを預かりして、多方面からの見地により病気の発見や治療に貢献しています。

患者さんの顔を直接見る機会が少ない部門ですが、医師や看護師など多職種と情報の共有化を積極的に行い、患者さんへ病気や検査データの説明を行うことで、より質の高い臨床検査データの提供が出来るようになりました。

チーム医療の一員として「患者さんに信頼される医療」を目指し、更なる努力をしてまいります。何卒、宜しくお願ひ致します。

## 人事異動紹介

(4月1日)

	新任者	退任者
病院局参与	高原 善治	—
院長	丸山 尚嗣	高原 善治
副院長	三村 雅也	丸山 尚嗣
診療局長	水本 英明	丸山 尚嗣
看護局	新任者	退任者
A7病棟師長	長尾 修美	池崎 陽子
感染制御室副室長	池崎 陽子	—

医局	新任者	退任者
心臓血管センター長	稻垣 雅行	高原 善治
リエゾンセンター長	宇田川雅彦	—
循環器内科部長	福澤 茂	稻垣 雅行
整形外科部長	高瀬 完	三村 雅也
手術部長	貝沼 修	佐藤 信夫
内視鏡部長	田中 元	水本 英明

リハビリテーション科	新任者	退任者
副技師長	堀之内達也	—
副技師長	新井 千絵	—
臨床検査科	新任者	退任者
技師長	諏訪 直生	高橋 久雄
副技師長	丸子 孝之	諏訪 直生

診療科名	採用者			退職者		
呼吸器内科	鹿野 幸平			柳澤 麻子		
消化器内科	金子 達哉	古賀 邦林	藤井 渚夕		徳長 鎮	小川 悠介
循環器内科	芝山納恵瑠				山中希有子	
小児科	伊藤 祐大	甲斐 千明			武井 悠	
外科	松本 泰典	加藤直菜美	大島 莉	桑山 直樹	仙波 義秀	小林 拓史
乳腺外科	青柳 智義				水内 喬	
整形外科	脇田 浩正	正田 純平			向井 務晃	
形成外科	渡邊 浩志				内田 龍志	生川 知佳
心臓血管外科	金行 大介				藤井 政彦	
皮膚科	栗田 遼二	井関 梢			川島 秀介	山崎由里子
泌尿器科	川端 慧				樋口 耕介	
産婦人科	鈴木由梨奈	藤森 浩司			中崎 千晶	
耳鼻咽喉科	兼坂 寛子				長坂 強	

※人事異動に伴い、外来診療体制が変更されています。(詳しくは、12ページをご覧ください。)



特集

# 腰椎椎間板ヘルニアの治療

整形外科副部長 染谷 幸男

腰椎椎間板ヘルニアという病気、皆さん一度は聞いたことがあるのではないでしょうか。しかし、どのような病気なのかわからないという方もいるでしょう。今回の特集では、どんな病気なのかを含め、当院で行っている治療についてご紹介します。

## 腰椎椎間板ヘルニアとは？

ヘルニアとは体内のある臓器が本来ある位置から脱出してしまった状態のことを言います。なかでも、腰椎椎間板ヘルニア（以下「椎間板ヘルニア」という。）は強い腰痛、足の痛みやしびれなどを起こす病気として有名です。

椎間板ヘルニアの説明をする前に、腰の構造を簡単に説明します。私たちの腰椎は文字どおり体を支える要です。かつ、大きく動くこともできます。しなやかな動きと立位にも耐えうる支持性を可能にしているのが、骨と骨の間にある椎間板とよばれる軟骨です。この椎間板は血行が少なく、10代後半から傷んできます。さらに、人間は立っているため椎間板には常に圧が加わることから、その内容物が飛び出してしまうことがあります。これが椎間板ヘルニアです。腰の骨は足の感覚や運動などを司っている神経を脊柱管と呼ばれるスペースに入れて守っています。このため、椎間板がヘルニアとなり、内容物が脊柱管内に飛び出して神経を圧迫すると、腰痛のみでなく足の痛みやしびれなども出現するのです。これらの症状は、圧迫されている神経の場所により異なります。

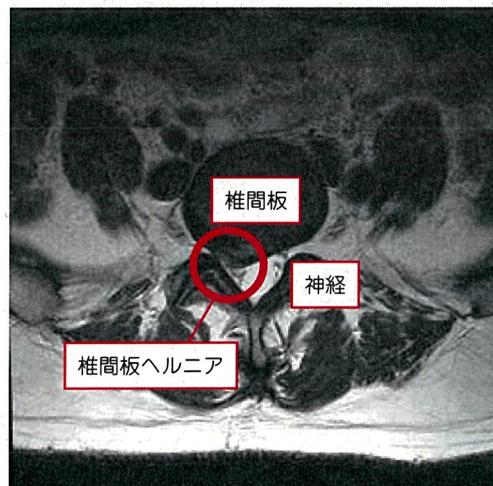
次に、その診断と保存療法、手術療法の主な治療法について説明します。

## 診断

腰痛、足の痛みやしびれなどを起こす病気は、背骨の病気だけでも椎間板ヘルニアのほか、脊柱管狭窄症などの変性疾患、背骨の骨折、感染、腫瘍など多岐にわたります。その診断にはMRIなどの画像検査でヘルニアの存在を確認することが重要です。しかし、画像でヘルニアがあったとしても症状には関係ないこともあります。このため注意深い診察により、症状と画像所見の一致を確認することが大切です。



椎間板ヘルニアのMRI画像



## 保存治療

発症時は強い症状がありますが、2～3カ月でヘルニアが小さくなることも多いため、まずは、痛み止めなどの内服薬の服用が一般的に行われます。また、痛み止めが効きづらかったしびれにも効く新薬も発売され、多く用いられています。一方、牽引療法などについては、有効性が科学的に証明されてないため、以前のようには行われていません。硬膜外ブロックや神経根ブロックという注射は、痛みやしびれを軽減できるのみでなく、症状が消失することも期待でき、内服薬で効果が不十分な場合に行われます。

## 手術治療

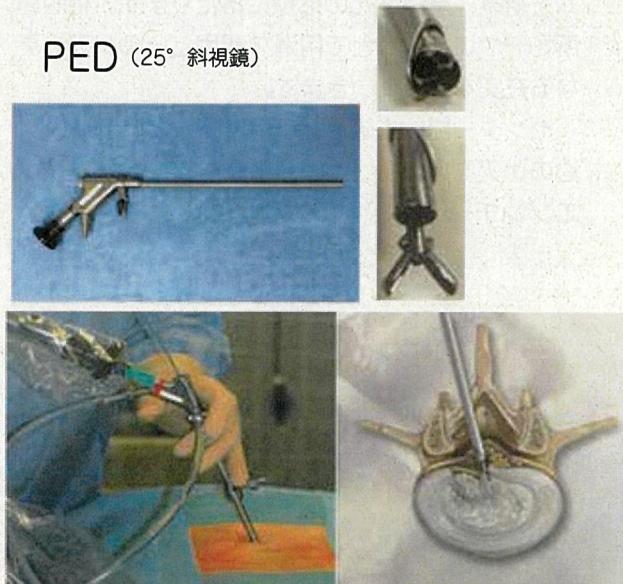
痛み止めやブロック注射などが効かなかった場合のほか、足の力が入らない、おしっこが出せない場合には手術治療が行われます。重症度にもよりますが、およそ2～3割の患者さんが保存治療では十分効かずに手術に至っているようです。

手術は、一般的にLove（ラブ）変法という術式が行われています。これは、腰に5～8cmほどの創で、筋肉を骨から剥がします。骨を一部削り、靭帯を分けます。ヘルニアにより圧迫された神経を確認し、ヘルニアを切除するものです。良好な視野のもと確実なヘルニアの摘出が可能であり、強い痛みは術後軽快します。

一方、近年の光学技術の進歩と周辺機器の開発により、内視鏡を用いた小さな創での手術もできるようになりました。まず、平成10年頃より、2～3cmほどの筒を使っての内視鏡手術が本邦に導入されました。さらに、平成15年にわずか7～8mmという鉛筆ほどの太さの内視鏡を用いた手術である**経皮的内視鏡手術（PED）**が導入されました。この術式は、極めて少ない侵襲であるにも関わらず、レーザー治療のようにやみくもではなく、神経やヘルニアをしっかりと内視鏡で確認しながら、ヘルニアの摘出ができる画期的な治療法です。術後の創痛も軽度で、翌日には退院ができます。しかし、もともと背骨はお腹や関節などと違い、本来スペースのないところであり、かつ、神経の近くでの処置も多く、技術的に習得すべきことが多いと言えます。当院は平成26年よりPEDを導入し、良好な治療成績も得ています。また、日本整形外科学会の技術認定を受けた数少ない施設でもあります。当院のPEDの適応は、あくまで椎間板ヘルニアのみとしていますが、さまざまなアプローチにより、特殊な部位を除き、あらゆる部位でのヘルニアに対処可能です。

なお、残念ながら、どの手術でも、5～10%ほどのヘルニア再発の可能性があります。また、再手術はやや侵襲の大きなものとなることも多く、慎重な手術適応の決定が大切です。

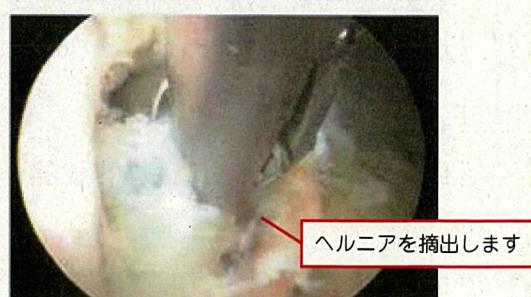
PED (25° 斜視鏡)



PEDを使った手術の様子



神経をよけ、ヘルニアを確認



鉗子でヘルニアを摘出

# リエゾンセンターを開設しました

平成29年4月より、リエゾンセンターを開設しました。現在活動中の精神科リエゾンチーム、がんサポートチーム、認知症ケアチームの3チームの活動を円滑にし、入院患者さんやご家族の心のケア、認知症患者さんのケア、がん患者さんの精神的苦痛の緩和をより充実させることを主な目的としています。

入院患者さんが精神面の相談をしたいとき、病棟スタッフにお申し出いただければそこからリエゾンセンターへ依頼され、専門のスタッフがチームを組み、患者さんの治療にあたります。相談箇所を一つにすることで円滑な運用と心のケアの更なる充実を図っていきます。

センター開設に際し、宇田川部長は「当院には、心のケアを行うチームが3つあります。精神科リエゾンチームは各科の患者さんの心の診療を行

います。がんサポートチームは、がんと診断された直後から全治療期間に渡って、心身両面を含めたあらゆる苦痛の緩和を目指します。そして認知症ケアチームは、認知症を持つ入院患者さんが病気の治療や入院生活に支障を来さないように活動します。この3つのチーム医療の機能（がんサポートチームについては特に心のつらさをケアする機能）を活用しやすい形で提供するためにリエゾンセンターを開設しました。リエゾン(liaison)とは「連携」を意味するフランス語です。リエゾンセンターは、当院の「心のケアの総合窓口」となって、心とからだの医療の連携(liaison)、患者さんと医療者との連携(liaison)を築きつつ、院内全体に心の医療とケアを行き渡らせることを目指します。」と語りました。

## 稻垣麦野副看護師長(医療連携・患者支援センター) が優秀ポスター賞を受賞

平成28年12月19日～21日に行われた第57回日本肺癌学会学術集会において稻垣麦野医療連携・患者支援センター副看護師長が優秀ポスター賞を受賞しました。この受賞を受けて稻垣副看護師長は、「この度、ポスター賞を受賞いたしました。1,200題を超えるポスターの中から選出された演題は10題、そのうちメディカルスタッフの受賞は2題でした。その1題に選ばれ、多職種での取り組みが評価され、大変光栄に存じます。今回の受賞は多くの方々からのご指導、ご協力があってのものです。深く感謝いたします。学会では、終末期の患者さんとの関わりについて発表いたしました。私は、退院調整看護師として平成24年から活



動をしていますが、今は当院での退院支援に取り組む体制も整い、大変励みになっています。今回の受賞に恥じないよう、これからも努力をしていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいいたします。」と、喜びを語りました。

# 医療を学ぼう! in 図書館

当院では、平成28年10月から船橋市西図書館と連携して、市民の皆さんに医療に関するさまざまな情報を提供する取り組みを行っています。医療情報コーナーの設置と、毎月医師と医療スタッフによる医療講演会と相談会を開催しています。ご興味のある方はどなたでも医療を学ぶことができます。また、地域がん診療連携拠点病院として、がん専門相談員の相談もお受けしています。最近の講演会の様子をご紹介します。

## 1月「口コモティブシンドロームのはなし」整形外科 三村雅也

口コモのチェック方法、そして日ごろから皆さんができる口コモ予防の体操が紹介されました。多くの方が健康長寿を目指して熱心に話を聞いていました。

## 2月「飲み薬で治そう! C型肝炎」消化器内科 水本英明

気づきにくい病気であること、最近話題の薬の話、肝炎検査について話がありました。「薬で治る時代になってきてるので、検査を受けたことのない人はぜひ肝炎検査を受けましょう。」と繰り返し話されました。

## 3月「消化器系がん（胃・大腸・肺）の最新治療の話」消化器外科 夏目俊之

消化器がんの最新の治療の話だけでなく、検診の重要性についても話がありました。病気でない方にとっても健康を見直す機会になったのではないでしょうか。



講演中の水本先生

今後の医療講演会予定 14:00～15:00 申し込み不要 先着50名

日程	演題	演者
4月20日(木)	聞いて得する肺がんの話	呼吸器外科 一ノ瀬修二
5月18日(木)	肝炎と肝がん 胃炎と胃がん	消化器内科 水本英明
6月17日(土)	血管の病気について ～心臓大血管を中心に～	心臓血管外科 櫻井学

※予定は変更する場合もありますので、広報ふなばしや図書館HP等でご確認ください。  
講演会の後、申し込み制で相談会を行います。西図書館にお申込みください。

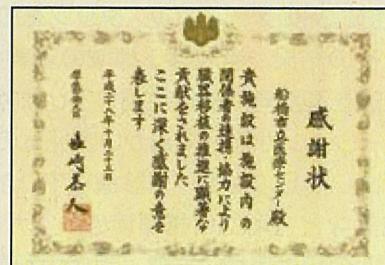
今年度は、より多くの方が講演会に参加できるよう、土曜日にも医療講演会を開催します。平日に参加できない方もぜひご参加ください。気軽に立ち寄れる身近な図書館で医療、健康について学んでいきましょう。

医療連携・患者支援センター 石川晴子

## 厚生労働大臣から感謝状

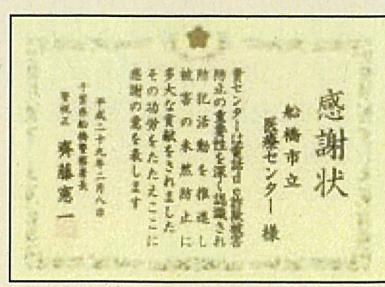
当院は臓器提供によって臓器移植の推進に貢献した団体として、今回、厚生労働大臣から感謝状をいただきました。

ご協力いただきました関係者の方々に感謝しますとともに、今後も臓器移植に協力してまいります。



## 船橋警察署長から感謝状

この度、当院が電話de詐欺被害防止活動の推進、被害の未然防止に貢献したとされ、千葉県船橋警察署長から感謝状をいただきました。



# 当院で働く人々

## ～栄養士の仕事～

当院の栄養士の仕事は、給食管理と栄養管理の2つに大きく分かれます。そして、同じ栄養士でも病院職員と委託会社社員と立場の異なるスタッフが所属しています。

給食管理（献立・食材管理、調理・盛付・食器洗浄）は、入院している患者さんへ年中無休で1日3食、決まった時間に食事を届ける大切な仕事です。主に委託会社の栄養士や調理師、調理員が担当していますが、病院職員の栄養士も共にその業務全体に携わっています。

栄養管理は、病院職員の栄養士が担当しており、臨床・研究・教育を行っています。臨床では、入院患者さんの栄養管理を医師や看護師、薬剤師などのスタッフと協力して行っており、栄養相談は入院だけでなく外来や地域の診療所に通院している患者さんへも実施しています。研究では、得られた結果を学会等で報告しています。教育では、栄養士養成学校への講義や実習生の受け入れを行っています。また、企業や学校、他の病院の方々との研究会活動、さらに疾病ごとに地域の医療施設や介護、福祉関係の方々と連携し、協議を行っています。

食事や栄養のことで何かありましたら、お気軽にご相談ください。共に考えてまいります。

栄養管理室長 松原弘樹

## 卒後臨床研修評価機構の認定を更新しました

当院では特定非営利法人卒後臨床研修評価機構（略称：JCEP）による第三者評価を受審し、平成29年2月1日付けで認定を更新しました。

前回の受審後から更新に向けて、指摘された事項を整理し、研修管理委員会の構成員に医師や看護師以外のメディカルスタッフを加えたり、シミュレーション機器の購入などを改善しました。

その結果、当院は「地域の基幹病院として、がん診療や救急医療を高度専門的に展開しています。そして、職員間のコミュニケーションが良好で温かい雰囲気の中で、優秀な指導医と研修医が高い満足度をもって診療しています。シミュレーション施設の充実など各所に研修環境の向上が認められますが、研修プログラムの行動目標・方略・評価の記載、医療安全などの共通分野、特定の医療現場の経験に関する研修プログラムの整備について検討を進める余地があります。研修医に高く評価されている臨床研修病院として、研修システムの充実を更に図られるよう切に期待します。」との評価をいただきました。

まだまだ改善の余地があるとの評価結果ではありましたが、今後も当院で充実した臨床研修を行ってもらえるよう、環境整備等に取り組んでまいります。



※この「医療センター News」のバックナンバーは当院ホームページでご覧いただけます。



## 「超急性期リハビリテーションを紹介します ～早くからリハビリをする理由～」を開催しました

2月2日（木）に市民文化創造館（きらら）にて、梅田真理リハビリテーション科副技師長を演者とした公開医療講座を開催しました。

今回の講座では、超急性期リハビリテーションの主な目的や、栄養・運動習慣等についてイラストを含めてわかりやすく解説しました。梅田副技師長は「急性期リハビリテーションは、可能な限り早期から開始します。ベッドから起きること、座ること、移動することを段階的に行っていきます。自分でトイレに行くことやご飯を食べることを楽しみの一つとして、離床をすすめます。」「運動能力を向上させるためには、がんがんリハビリをやれば良いわけではありません。状態に応じて適切に栄養を摂取できるように、日頃から運動習慣を持つことや誤嚥しないようにと心がけることが大切です。」などと語りました。

## 第10回 がん市民公開講座

### 「がんにならないためにできること」を開催しました

3月5日（日）に市民文化創造館（きらら）にて第10回がん市民公開講座を開催しました。今回は「がんにならないためにできること」として予防をテーマに、当院の医師4名がそれぞれ「たばことがん」（平野聰腫瘍内科部長）、「肝細胞がんの予防～今からできること～」（関厚佳消化器内科副部長）、「胃がんの予防」（水本英明消化器内科部長）、「子宮頸がんワクチンの現状」（齊藤俊雄産婦人科部長）を演題として講演しました。

残念ながら現状では100%予防が可能なわけではなく、また、いまだ原因が十分解明されていないがんも多数ありますが、以前に比べて明らかな予防効果が認められる対策が増えてきています。今回の内容は喫煙、肝炎ウイルス、ピロリ菌、HPVウイルスといったがんの原因として科学的根拠が明確となっている事柄を中心にしました。病院で行っている診断や早期発見・早期治療だけではなく予防が重要であることをご理解いただけるよう、現状や実際の予防効果について解説しました。



当院は省エネに取り組んでおります。ご協力お願いいたします。

# 救命救急センターの現場から～腹痛～

「急にお腹が痛くなったんです」と訴えて、救急車や歩いて救命救急センターを受診される患者さんがたくさんいらっしゃいます。対症療法や経過観察で良くなる方がほとんどです。しかし、緊急処置や緊急手術を必要とする患者さんが一部存在していることも事実です。

少し難しい話になるかもしれません、腹痛は大きく分けると内臓痛と体性痛の二つに分けることができます。

内臓痛は胃や腸の痙攣、過度の進展、拡張によるもので鈍痛（鈍い痛み）から痙攣（刺すような痛み）まで様々です。言葉で表現すれば、間歇的でキリキリ、シクシクでしょうか？一方、体性痛は腹膜や腸間膜、横隔膜などへの物理的、化学的刺激で発生する痛みで多くは急性腹症と呼ばれ、緊急手術が必要となります。こちらは持続的でズキズキでしょうか？

緊急手術が必要となる腹痛は大きく、1) 出血性ショック、2) 汎発性腹膜炎 3) 臓器の血行障害に分けられます。1) 出血性ショックの原因は出血性胃潰瘍、十二指腸潰瘍、腹部大動脈破裂、子

宮外妊娠、憩室炎などがあります。長期間、消炎鎮痛薬を服用されている場合は胃十二指腸潰瘍の可能性がありますから、特に注意が必要です。2) 汎発性腹膜炎は、上腹部であれば胃十二指腸潰瘍穿孔、右下腹部であれば急性虫垂炎の穿孔などが考えられます。3) 臓器の血行障害は、絞扼、念転、血管閉塞などが起こり、臓器へ血液が十分流れなくなっているため、時間が経過してしまうと臓器が腐ってしまう可能性がありますので、大急ぎで緊急手術をする必要があります。腹痛といつても軽症なものから重症なものまで様々ですので、いつもと違う痛みということであれば、早めに病院を受診してください。当救命救急センターは24時間365日、緊急手術に対応できる体制になっていますので、安心して受診してください。

救命救急センター長 境田 康二



初期臨床研修医2年 石橋 武大

昨年4月より当院で勤務しています。

周りの方々に支えられ、医師1年目、社会人1年目として楽しく研修させていただきました。社会人1年目として参加する忘年会、新年会などのイベントもひと段落し、新年的抱負を胸に新たな気持ちで日々研修しています。当院の研修医1年目の臨床研修プログラムでは、消化器内科、呼吸器内科、救命救急センター、麻酔科、循環器内科、脳神経外科を2か月ずつローテートします。この記事を書いている現在、自分は循環器内科を研修しており、季節がら大変忙しい時期ですが、日々、命が救われる瞬間やそれに全力で立ち向かう上級医の姿を目の当たりにし、感銘を受けるばかりです。

そんな命のドラマが病院で繰り広げられる中、世間では国家試験やセンター試験、中学・高校受験など様々な人生のドラマが繰り広げられる時期もあります。この場で皆さんを感嘆させられるようなドラマチックな話は持ち合わせていませんが、少しばかり自分の思い出をお話させていただきます。自分の大学受験期には、CMの影響もありチョコレート菓子の名前に願掛けし、親が梱包の

裏面にメッセージを書いて子供に渡すというのが流行っていました。自分の受験当日に母親から手渡されたものにもメッセージが書いてありました。「いつも頑張っているのを知っています。今日もいつも通り頑張ってください。ファイト！！お父さん！！」。自分にあてたメッセージではありませんでした。ふと日常の生活を思い出したことで緊張がほぐれ、すんなり試験に集中できたのは良い思い出です。

ややまとまりが悪いようにも思いますが、1年目の研修もあっという間で、早くも2年目に突入します。この記事が発行される時期には船橋の海老川沿いに桜がみられるでしょう。当院の研修医は、患者さんが日常の生活に戻れるように、笑顔が見られるように日々精進してまいります！誠心誠意で頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。



イベントに向けて準備中

**病院ボランティア（患者さんの案内や図書の整理など）を募集しています。詳しくは、医事課まで**

## 剖検慰靈祭を執り行いました

平成29年2月3日（金）に今回で2回目となる剖検慰靈祭を船橋グランドホテルで執り行いました。この慰靈祭は、ご遺族の承認を得て、当院にて病理解剖され、医学の発展及び研究に貢献いただいた故人の冥福を祈り、ご家族に謝意をお伝えするために3年に一度行っています。

今回は、平成25年10月から平成28年9月までにご協力いただいたご遺族をお招きして執り行いました。

当日は、13組23名のご遺族のほか、執刀医をはじめとする医師や看護師など22名の職員が参列しました。

病院を代表して高原善治院長が、「次世代の人々が、少しでも病気の苦しみから解放される方法は、亡くなられた方々の御篤志によって支えられている病理解剖による検討が極めて重要です。」と慰靈の言葉を述べました。続いて、解剖にご協力いただいた36名の方々、全員のお名前が奉読され、参列者全員による献花が行われました。

病理解剖へのご協力に対する謝意を改めて表するとともに、ご冥福をお祈りいたします。



## DMAT車両の導入

東日本大震災以降、日本DMATの活動において傷病者を被災地圏内から被災地圏外へ搬送する「広域医療搬送」の必要性が再認識されています。

災害拠点病院である当院においても広域医療搬送に協力が出来る体制を整備するため、消防局から更新対象の救急車を譲り受け、DMAT専用車両として配備しました。

DMATの活動内容の幅も広がり、より機能的かつ効率的な活動が期待できます。引き続き訓練や研修を実施して大災害に備えていきます。



### 平成29年度 募集概要 看護補助者（パート）募集

- 資格／特になし
- 時給／1,030円
- 勤務時間等／8～18時のうち当院が指定する8時間（実働7時間、休憩1時間）  
土日祝日、年末年始を含む週5日

※看護師を対象とした病院説明会を開催しています。

※詳細は当院ホームページ (<http://www.mmc.funabashi.chiba.jp>) をご覧ください。



船橋市立医療センター 電話番号 047-438-3321(代)

# 外来担当医師一覧表

平成29年4月1日現在

		月	火	水	木	金	備考
内科	新患	[交替医]	中村(俊)/鹿野	下山 立志	多部田弘士	巴山紀子・廣石拓真	新患の(火)は第1・3・5中村(俊)、第2・4鹿野
	呼吸器	中村 祐之 藤田 哲雄	天野 寛之 中村 純	廣石拓真 [交替医] 巴山 紀子	中村 祐之 中村 純	鹿野 幸平 天野 寛之	消化器の(月)は第2・4・5水本、第1・3関
	消化器	水本英明 関 厚佳 東郷聖子 <sup>※1</sup> /金子達哉 <sup>※2</sup>	安藤 健 関 厚佳	東郷 聖子 安藤 健 <sup>※1</sup> /石垣飛鳥 <sup>※2</sup>	金子 達哉 水本 英明	石垣 飛鳥 小林 照宗	消化器の※1は午前 ※2は午後
	代謝	岩岡 秀明	下山 立志	中村 俊介	下山 立志	岩岡 秀明	消化器の下段は原則、消化器内科からの予約患者のみ
	腫瘍			平野 聰		平野 聰	腫瘍は、肺がん、縦隔腫瘍、原発不明がんが対象
心臓血管センター	循環器 予約	内山 貴史 稻垣 雅行	福澤 茂 黒岩信行 沖野 晋一	岩田 曜 稻垣雅行・内山貴史	黒岩 信行	福澤 茂	※(火)は第1・3・5稻垣、第2・4内山
	内科 新患	石橋 健太	[交替医]	[交替医]	関根有希子	[交替医]	
	心臓血管外科	[手術日]	高原善治 茂木健司	[手術日]		[手術日]	午後1時30分から ※第2高原 ※第1・3・4・5茂木
緩和ケア内科			[交替医]	[交替医]			午前9:00~ 予約患者のみ
精神科	新患		宇田川雅彦	宇田川雅彦	榎原 雅代		新患は事前予約が必要(電話も可)
	再来	宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦・榎原雅代		
小児科		高橋 香 [交替医]	佐藤 純一 内山 薫	丹羽 淳子 斎藤 裕子	木谷 豊 竹本 直輝	伊賀 裕子 坂井 美穂	
外科	消化器・一般	宮崎 彰成 吉岡 隆文	夏目 俊之 佐藤やよい	丸山 尚嗣 野手 洋雅	田中 元修 貝沼	宮崎 彰成 松本 泰典	(月)松崎 午前のみ (火)丸山 午前のみ (水)吉原 午後ののみ
	乳腺	松崎 弘志		松崎 弘志 青柳 智義 吉原ちさと		唐司 則之 松崎 弘志	
	新患	玉貫 圭甲 [交替医]		[交替医]	[交替医]	[交替医]	
整形外科		[交替医] 秋本 浩二 [手術日]	池之上純男 高瀬 完 染谷 幸男	三村 雅也 斎田 寛明 新保 純	[交替医] [手術日]	[交替医] [手術日]	(火)・(水)は予約患者のみ (紹介状ありは可)
形成外科		[手術日]	薬丸 洋秋	薬丸 洋秋	[手術日]	渡邊 浩志	
脳神経外科		内藤 博道 新美 淳 根本 文夫	[交替医] [手術日]	畠山 和己 内藤 博道	安間芳秀・交替医 森脇 拓也 [手術日]	根本 文夫 畠山 和己	(月)根本、(火)内藤、(金)畠山は、新患患者のみ (木)安間は第1・3・5、第2・4は交替医
呼吸器外科		内田 修 一ノ瀬修二	内田 修 一ノ瀬修二	[手術日]	木下 孔明 内田 修・一ノ瀬修二	[手術日]	
皮膚科		栗田 遼二 井関 梢	栗田 遼二 井関 梢 宮川 健彦	栗田 遼二 井関 梢 宮川 健彦	栗田 遼二 井関 梢 宮川 健彦	栗田 遼二 井関 梢	
泌尿器科		武田 英男 黄 和吉	佐藤 信夫 齋藤 心平	佐藤 信夫 [手術日]	佐藤 信夫 安藤 敬佑	佐藤 信夫 川端 慧	
産婦人科		斎藤 俊雄 佐々木直樹	[交替医] [手術日]	斎藤 俊雄 [交替医] [手術日]	長嶋 武雄 [交替医]	佐々木直樹 長嶋 武雄 [手術日]	
眼科		小林 悠里 谷口 有子	松枝 美文 [手術日]	上原 七生 松枝 美文	小林 悠里 小林 晋二	小林 晋二 谷口 有子	(火)・(水)は予約患者のみ (紹介状ありは可)
耳鼻いんこう科		小林 皇一 兼坂 寛子	[手術日]	小林 皇一 兼坂 寛子	[交替医] 派遣医師 [手術日]	小林 皇一 木村健太郎	
放射線治療科		有賀 隆	有賀 隆	岩井 祐磨	小池 直義	有賀 隆	完全予約制
麻酔科		[交替医]	[交替医]	[交替医]	[交替医]	[交替医]	午前9:00~11:00 予約患者のみ
歯科口腔外科		村野 彰行	喜田 晶洋	村野 彰行	村野 彰行	村野 彰行	
特殊外来	女性専用(内科)			古池 織恵			予約患者のみ
	腎臓内科(内科)			梶原麻実子			午後1:30~ 予約患者のみ(電話も可)
	神経内科(内科)			能勢裕里江			午後1:30~ 予約患者のみ(電話も可)
	ステントグラフト外来(心外)		櫻井 学				午後1:30~
	ベースメーカー外来			[交替医]			午後1:00~
	小児循環器(小児)	佐藤 純一 斎藤 裕子	村社 歩美	佐藤 純一			午後 予約患者のみ (火)は第2・4
	小児神経(小児)				高梨潤一 牧野道子		午後 予約患者のみ 月1回
	小児腎臓(小児)				秋岡 祐子		午後 予約患者のみ 月2回
	小児アレルギー(小児)					下条 直樹	月1回 午前9:00~予約患者のみ
	小児外科(外科)				小松 秀吾		午前ののみ(午後手術)
	脳神経内科(脳神経外科)					東 美和	午前9:30~ 予約患者のみ

担当医師は、状況により変更する事がありますので、受診の際には当院のホームページ等でご確認ください。

※特殊外来の小児循環器、小児神経、小児腎臓、小児アレルギーの予約および予約変更是午後2時から4時の間に小児科外来へ電話してください。